東京都八王子市、高尾駅の南北自由通路整備を再始動

#東京 #関東 #住建・不動産

2022/12/26 18:40

八王子市は2023年度から高尾駅の南北自由通路の設計に着手する

東京都八王子市は26日、高尾駅の南北自由通路整備を再始動すると発表した。事業費の肥大化で事業が中断していたが、計画を見直して費用を削減する。2023年度に設計に着手し、都市計画変更の手続きを経て26年度以降の着工を予定している。

従来の計画で10メートルとしていた自由通路の幅を6メートルに変更する。自由通路の整備に伴って橋上化するJR高尾駅の駅舎の規模も4割縮小する。市によると、着工から供用開始までには5年程度かかる見込みという。

事業主体は市、JR東日本、京王電鉄の3者。15年度に都市計画決定したが、東京五輪・パラリンピックの開催に伴う物価高騰により事業費が当初の約90億円から150億円近くにまで膨らんだため、着工が延期されていた。

東京都八王子市、高尾駅の南北自由通路整備を再始動

八王子市は2023年度から高尾駅の南北自由通路の設計に着手する

東京都八王子市は26日、高尾駅の南北自由通路整備を再始動すると発表した。事業費の肥大化で事業が中断していたが、計画を見直して費用を削減する。2023年度に設計に着手し、都市計画変更の手続きを経て26年度以降の着工を予定している。

従来の計画で10メートルとしていた自由通路の幅を6メートルに変更する。自由通路の整備に伴って橋上化するJR高尾駅の駅舎の規模も4割縮小する。市によると、着工から供用開始までには5年程度かかる見込みという。

事業主体は市、JR東日本、京王電鉄の3者。15年度に都市計画決定したが、東京五輪・パラリンピックの開催に伴う物価高騰により事業費が当初の約90億円から150億円近くにまで膨らんだため、着工が延期されていた。